

# 契約当事者市町別の相談件数

令和7年度（令和7年4月～令和8年3月）

市町名	R7年度件数	R6年度件数	増減	対前年度比	市町名	R7年度件数	R6年度件数	増減	対前年度比
津市	462	361	101	128.0%	朝日町	18	17	1	105.9%
四日市市	185	182	3	101.6%	川越町	26	17	9	152.9%
伊勢市	74	58	16	127.6%	多気町	27	25	2	108.0%
松阪市	131	117	14	112.0%	明和町	29	33	-4	87.9%
桑名市	115	100	15	115.0%	大台町	21	10	11	210.0%
鈴鹿市	100	88	12	113.6%	玉城町	10	9	1	111.1%
名張市	72	81	-9	88.9%	度会町	17	10	7	170.0%
尾鷲市	17	7	10	242.9%	大紀町	6	6	0	100.0%
亀山市	31	29	2	106.9%	南伊勢町	5	10	-5	50.0%
鳥羽市	9	9	0	100.0%	紀北町	17	15	2	113.3%
熊野市	31	33	-2	93.9%	御浜町	13	16	-3	81.3%
いなべ市	101	68	33	148.5%	紀宝町	12	8	4	150.0%
志摩市	25	20	5	125.0%					
伊賀市	58	79	-21	73.4%	県内不明	39	48	-9	81.3%
木曾岬町	10	9	1	111.1%	県外・不明	120	132	-12	90.9%
東員町	62	59	3	105.1%					
菰野町	47	55	-8	85.5%	合計	1,890	1,711	179	110.5%

相談件数は、県センターの所在地である津市が最も多く、続いて、四日市市、松阪市、桑名市、いなべ市、鈴鹿市の順になっています。

※消費生活苦情相談件数のみの集計です。